

# 巻で噂の 非常食

一品目



「食べれるまでの調理時間」や「保存期間」、「後始末のしやすさ」など、非常食を選ぶポイントは様々です。中でも、「自分が美味しく食べられる味」が非常食を選ぶ上で最も重要なポイントです。しかし、現代は飽食の時代、どれを選べばいいのか迷うくらい非常食の種類は豊富です。そこで、皆様の参考になるよう、防災・環境チームとして、巻で噂の非常食を紹介します。

今回紹介する非常食は「農協の飲めるごはん」。味は「梅・こんぶ風味」「ココア風味」「シナモン風味」の3種類。実際に飲んでみたら、男性職員には「梅・こんぶ風味」が、女性職員には「ココア風味」が評判良かったです。ただ、全種類で「はとむぎ」が使われており、苦手な人にはおススメしないかも。嚥下機能が低下した高齢者の方には飲みやすい非常食だと思います。

家族の中に食べられるものに制限がある乳幼児・高齢者・アレルギーがある方などがみえる場合、普段から食べているものを必ず備蓄しておきましょう。



「農協の飲めるごはん」  
(ココア風味・シナモン風味・梅こんぶ風味)



いただきまーす!!

!?



はとむぎ苦手

高齢者の方にはいいかもね

うまい...かも(笑)

## 新入職員紹介

職員一同頑張りますので宜しくお願いします。



介護士  
江見 瞳



介護士  
清水 梨紗



介護士  
曾根 善明



介護士  
長谷川 良



介護士  
前田 仁美



看護師  
垣花 佳代子



看護師  
村崎 歩実



管理栄養士  
竹田 暁子



運転手  
武内 輝達

### ご協力ありがとうございました

令和2年5月14日～令和2年8月31日  
※敬称略・順不同

#### ボランティアありがとう

吉田 英翠 移動美容室「ひまわり」

#### 善意ありがとう

川治 昭雄 高田 峯子  
木澤 みどり 松田 昇平  
シオンライフ(株)



2020

企業主導型保育所

No. 68



# ぬく森本館・新館の感染症対策

新型コロナウイルス感染拡大に対する愛知県独自の緊急事態宣言は解除されましたが、近隣市町村での感染疑いなど予断を許さない状況です。ぬく森職員につきましても利用者様を守る・大切な人を守る・自分自身を守るためにも不要不急の外出自粛や会食の自粛などプライベートでも責任のある行動をお願いするとともに感染防止策の徹底をしています。

※スタンダードプリコーション(職員の1ケア1手洗い)を徹底、事務所に検温場所を設置し①消毒②マスク着用③検温の順に行います。

朝・夕方には各部署で廊下の手すりやドアノブなどの消毒はもちろんのこと、換気も定期的を実施しております。

そして、ぬく森本館では職員の出入り口が密集しないようにすること・他部署との接触を回避するためにユニット型特別養護老人ホーム・デイサービスセンター・特別養護老人ホームの3ヶ所に分けることに致しました。

カウンターには飛沫感染対策でアクリル板を設置しました。

デイサービス・ショートステイでは送迎時の健康チェックと車内乗車前に手指消毒・また車内消毒・換気、営業終了後は血圧計や体温計・使用した物品を消毒し、感染予防対策をしています。

これから冬になり、インフルエンザの時期もやってきます。新型コロナウイルスとインフルエンザから利用者様を守るため、今後も気を引き締めて感染予防対策に努めて参ります。

特別養護老人ホーム ぬく森  
ユニット型特別養護老人ホーム ぬく森  
事業長 西田 麻里

## 本館・新館の感染予防策



### ※スタンダードプリコーションとは?

スタンダードプリコーションとは、感染症の有無にかかわらず全ての利用者を対象に、血液・傷のある皮膚・粘膜・すべての体液(汗を除く)を感染の可能性のある物質とみなし、対応する予防策のことです。スタンダードプリコーションを実践することで、未知の病原体からも暴露を防ぐことができます。

予防の具体的な方法:手洗い・うがい・手指消毒・マスク着用・手袋・防護具の着用など。

# ぬく森・第二の感染症対策

新型コロナウイルスの感染拡大以降、一般企業にはテレワークが広がりつつありますが、病院や介護施設などの身体的な接触を伴う職場の場合は、在宅勤務というわけにはいきません。とくに、介護施設は免疫力が低下している高齢者が集団で生活する場所ですので、感染が広がりやすい状況にあります。

ぬく森・第二においても、感染リスクを抑えるため、国や自治体が表示感染症対策を参考に、施設に合った予防策を徹底して実践しています。

新型コロナウイルス感染症に限らず、※“スタンダードプリコーションの励行(『1ケア1手洗い』に始まる標準的予防策)”は日常から徹底しております。各ユニットにおいては普段から換気・物品消毒を行っておりますが、兼ねてから入居者様にも感染予防の意識を持っていただけるよう、11:00、16:00には全館放送を行っております。そこでは室内換気と、手洗い・うがい・手指消毒のご協力をお願いしていますが、皆さん快く応じて下さっているおかげで清潔に対する意識が根付いています。

また、ぬく森・第二においては、近隣も含めた感染状況を鑑み面会制限を行っておりますが、その代替策として、ビデオ通話ができるアプリケーションを活用したオンライン面会を推進しております。心配しておりました通信環境や音量等についても、ご家族様の御協力を得ながら徐々に整えていくことで、スムーズなコミュニケーションを楽しんでいただけるようになりました。オンライン面会にはサポート役として多職種がかわるがわる同席させていただき、様々な角度から入居者様の生活状況をご家族様にお伝えできるような工夫もさせていただいております。遠方にお住まいのご家族様と三者面会を楽しまれる等、今までにない交流の形を築くことができたことは、混沌としたコロナ禍だからこそ得られた大きな成果だと感じます。

日々の関わりの中でも、“美味しく食事を摂ること”“身体を清潔に保ち心地よく過ごせること”“レクリエーションで笑っていただくこと”“ゆっくり安心して休めること”等を心掛け、毎日をいきいきと楽しく過ごしてもらうことで免疫力の向上に配慮しています。

何かと制限される時世ですが、安全安心な環境で皆様と楽しい時間を共有しながら、新型コロナウイルス感染症という未曾有の危機を乗り越えていきたいと思っております。

特別養護老人ホーム ぬく森・第二  
事業長 後藤 規之

## 第二の感染予防策





# リーダー紹介



## フロアリーダー

まえ たか ひと

本館 前田 貴仁



今年で勤続10年目を迎え、リーダー歴は6年ほどになります。周りの人達に支えてもらいながらリーダーをしています。

ステイホームということで、いつもなら休日にはふらっと一人で旅行に行っていました。我慢して家で大人しく過ごしています。1つのことにこだわらず、色々なことをして過ごしていました。使わなくなった物を整理したり、普段作らないから揚げやコロケといった手間のかかる料理を作ったり、マカロンを作ろうとして失敗したクッキーの様な物を一人で食べたり、庭の草取りをしていました。

私たちのフロアは従来型のフロアで、ショートステイを利用いただいている方を含めると55名の方が在籍しています。利用者の皆様は非常に元気でパワフルな方が多くいつも賑やかな声で溢れています。

コロナ禍では感染対応や消毒による感染の予防に追われる中、フロア内の模様替えを行い古くなった物を処分したりして、整理整頓をしました。業務の見直しを行い、些細なことではありますが、少しでも職員の負担が減る様に努めています。

外出やおやつレクが出来なくなっているため、利用者様には個々の好きなことをできるだけ楽しんでもらおうと考えています。特に脳の活性化に良いと最近評判の塗り絵を楽しめる方がみえ、利用者様同士でお話をしながら塗り絵を行っている様子は華やかでとても楽しそうにされてみえます。

今後も利用者様とのコミュニケーションを大切に、職員の介護技術の向上に目を向け指導に当たっていきたくと考えております。



## 杏ユニットリーダー

さわ むら ち か

新館 澤村 知佳



私はステイホームということで、お取り寄せグルメにハマりました！

何処にも出かけられませんが、ちょっといいおやつや、大好きな小籠包など、お家で美味しいものが食べられて幸せです。

私がいる新館の杏ユニットはショートステイで、お泊りに来られる利用者様が過ごされるユニットです。お泊りの期間は長かったり短かったり様々ですが、日々泊りに来られる利用者様が違うので毎日新鮮な気持ちで動いています。

今年はコロナ禍で例年のように利用者様と一緒に出かけをしたり、料理やおやつ作りをすることができませんが、そんな中でも利用者様と書道をしたり、一緒に段ボールで輪投げやボール投げゲームを作りからだを動かして楽しんでいます♪

これからの季節は運動の秋ということで、杏ユニットでミニ運動会をやりたいなと考えています！！



杏ユニットにお泊りに来られる利用者様に、「来て良かったな。」「また来たいな。」と思っていただけるよう、これからも頑張っていきたいと思っています。

## なのはなユニットリーダー

た な か し ほ

第二 田中 志歩



リーダーとして、私の中で目標にしていることは、常に利用者様とご家族様が安心してご利用いただけることを第一に考えながら、一般職だった頃以上に、ユニットメンバーの誰よりも業務を把握し、何が必要か見極めて動けるようになること、そして、メンバーの意見をよく聞き、まとめ、働きやすい環境を整えることが出来るようになることです。また、リーダーという立場に慣れないことに加え、新型コロナウイルスの影響により、今までと違った対応を求められ、戸惑うことも多くあります。しかし、ご利用者様やご家族様からの「ありがとう、また来るね」「またお願いします」といった「また来たい」と思ってもらえる言葉にいつも元気を頂いています。

4~5月頃の約2か月間、短期利用の制限によりご不便をおかけしていましたが、再開することを心待ちにしてくださっていたという声を多く聞き、本当に嬉しく思い、やりがいを頂きました。また、このような大変な中でも、ユニットメンバー全員が、より良いサービスが提供できるよう、一丸となって業務にあたってくださいにいつも支えられ、助けられています。

まだまだ頼りない面もあると思いますが、精一杯努めていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



## かきつばたユニットリーダー

すず き も と お

第二 鈴木 元央



2階のかきつばたユニットのリーダーをしています。

介護職に就いたのは壮年を迎えてからであり、以前は運送業をしていました。大型トラックを操縦様々なところへ向かい、時には豪雪に見舞われ何十時間も同じ場所から動けなかったこともあり。大変なこともありつつ楽しく働いてはいましたが、運送業は人の交流が少ない業務であり、生まれつき人と話すことが好きだったので「人と直接かわる仕事を・・・」と思い介護業界へと移り変わる事としました。そうして縁があって現場に入職し、日は浅いのですが本年度からユニットリーダーにつくこととなり奮闘する日々を過ごしています。

リーダーになり「人に動いてもらう」という事は本当に難しいと痛感しました。まず、指示を出すことがあまり好きではなく「相手にやらせるなら自分が動く方がよい」という性分なため気づくと抱えている「やるべき事」が山積みになります。これでは自分も周囲にも良い仕事の流れができず、若い職員の成長を促すことにもならないとわかりながら器用にこなせていません。相手に納得のできる話し方や伝えかた、その結果と内容についての評価の仕方などを工夫し自分

も相手にも「気分よく働ける環境」を作るよう心がけています。そうした結果としてなんでも話し合える過ごしやすい職場にもなり、勤めている人間の表情が穏やかであれば同じ空間で生活する利用者様にも過ごしやすいユニットになることと信じて絶えず精進していきます。



# ぬく森だより

5月 6月 7月 8月

## 5月 特別養護老人ホームぬく森・第二 梅干し作り

今年の夏は例年以上に暑いと噂されていたので、暑さを乗り越えるために、みなさんと梅干を作ってみました。各ユニットに1キロずつくらいが渡るように…とはいえ、全ユニットとなると12キロ近い梅。それを皆さんがコツコツと下ごしらえをしてくださいました。甘い梅の香りと懐かしい作業に、あっという間に下ごしらえは終了。楽しみがひとつ増えました。



## 5月 保育所ぬく森 母の日のプレゼント

いつもお仕事を頑張ってくれている優しいお母さんたちに感謝の気持ちを込めてプレゼントを作りました。子どもたちはクレヨンも絵の具も何度か使っているのでお手のもの。みんな真剣な顔で、でも楽しそうにクレヨンで顔を描いたり、絵の具でボンボン模様をつけてカードが完成。お母さんたちの笑顔がみれて、園児たちも嬉しそうでした。



## 6月 ケアハウスハートフル ぶち散策



新型コロナウイルス感染症の影響で、3密禁止や遠方への外出禁止などさまざまな制限があるなか、新鮮な空気を吸いに散策しました。6月は梅雨の季節ということもあり、あいにくの雨でしたが、雨に濡れたあじさいはとてもきれいでした。ちょっと歩くだけでも良い気分転換になりました。

## 7月 ぬく森サロン・五郎丸 サロン再開



コロナ禍でサロンの活動がストップされて以来、4か月ぶりにサロンを再開することができました。利用者様同士で「お久しぶりです」「元気そうでよかったわ」と再会を喜ぶ声が聴こえてきました。マスクの着用や手洗い、うがい、手指消毒を徹底し、3密を守りながらサロンの活動を行っています。飛沫感染を防ぐために創作活動や脳トレを中心に行っていますが、利用者様より「早く大きな声で歌をうたいたい」と要望がありました。早く感染対策をせず、のびのびと歌いたいですね。

## 7月 デイサービスセンターぬく森・第二 ハーバリウム教室

今回はハーバリウムオイルは使わずに、洗濯のりと色とりどりの造花で作ってみました。色合い、配置には真剣なまなざしで取り組んでくださいました。『こんなに入らない〜』『これは絶対いれないわ〜❤️』お好きなリボンをかけて、世界に一つだけのキレイなハーバリウムが出来上がりました。



## 7月 特別養護老人ホームぬく森 七夕

七月七日は七夕、ということで利用者の皆様には思い思いの願いを短冊に書いていただき、笹の葉に飾りました。一つ一つに想いがあり「健康で長生きしたい」「感謝しています」など願い事はさまざま。利用者の方々の願いが叶うよう、今後もお手伝いしていきます。



## 7月 デイサービスセンターぬく森 Tシャツ作り



毎年恒例のTシャツ作り、今年は紅茶で染めてみました。輪ゴムで布を縛って、丸い柄や斑模様など色々な柄を作りました。とてもきれいな淡い茶色に染まりました。みなさんとても気に入ってくださり、後日、そのTシャツを着て来設される方もみえました。来年は何で染めてどんな色に染まるのか、ご期待ください。

## 8月 ユニット型特別養護老人ホームぬく森 夏の掲示物作り(楓ユニット)



夏といえばお祭り! ということで楓ユニットでは少しでもお祭り気分を感じていただきたく「夏祭り」をテーマに掲示物を作成しました。皆さまに「夏祭りといえば?」と朝の体操の際に脳トレとして聞き取り、それを絵にして色を塗っていただきました。色を塗った後は切り取り、好きな場所に貼り付けて完成! にぎやかでお祭りらしさが溢れる作品になりました。来年こそ、楽しいお祭りが迎えられるように。

# デイサービスセンター ぬく森・第二の夏祭り

## 祭 8/17

8月17日(月)に夏祭りを行いました。午後からダイルームで輪投げ、紙飛行機飛ばし、たこ焼き、アイスキャンディー、フリードリンクのブースを作り、緑日の雰囲気味わってもらいました。また、ブースの中心には盆踊り会場も準備して盆踊りも楽しんでもらい、ゲームの優勝者には賞状を贈呈させていただきました。利用者様からは「楽しかったから毎日やってほしい」等のうれしい声も聞けました。夏祭りの最後には冷やしぜんざいを召し上がり、夏祭り全体を通して夏を感じていただけたのではないかと思います。

# ぬく森・第二の夏まつり

## 祭 8/21

今年は新型コロナウイルスの影響で、例年通りの盛大な夏まつりはできませんが、音楽隊の演奏と、お祭りらしい食事を利用者の方々に楽しんでいただこうと企画しました。演奏は密にならないように、各階2ユニットずつで何回にも分けて数曲でしたが生の演奏と、懐かしい音楽に涙を流される方も多くみえました。昼食にでた焼き鳥は、大好評で串を片手においしそうに皆さん召し上がっていました。小さな夏祭りでしたが、皆さんの笑顔にあふれた素敵な一日になりました。